園だより 3月'26

こひつじ保育園

月　主　題	
０歳児	大きくなったね
１・２歳児	大きくなったよ
３歳児	よろこびあう
４・５歳児	希望をもって

主が一歩一歩を備えてくださる。箴言16章9節

卒園する年長さんが生まれた2019年度・・

2019年4月生まれの子は平成31年の最後を飾り、5月生まれの子は令和元年最初に生を受けたという、記念すべき歴史の変わり目にこの世に誕生しました。それから6年の月日が流れ、いよいよ卒園という時を迎えます。

この1年、特にAIの進化が著しくこれから先の未来を予測することすら難しくなってきました。私自身も会議の議事録作成をAIに頼っています（録音するとさっと要約し、簡潔にまとめてくれる）。一度使うとその便利さに手放せなくなりそうです。

園だより2月号で書きましたが、便利さではなく、子どもの育ちはアナログの中でこそ、実体験のあそびや面倒くさいと思われる関係の中でこそ様々の育ちを得ていきます。それは人は決して一人では生きられず、人の中で、人を通して育つと言われる所以なのでしょう。

あそびの方法や種類は様々ですが、子どもが夢中になって大人の干渉をあまり受けずに遊べる自由なあそび（大人から見ると無意味にも映るかもしれませんが）はとても大切です。
また、冒険と挑戦ができる環境は、子ども自らが目標を定めてそれに向かっていく意思（意欲を）を育てます。しかし現代社会は1990年代以降特にそうだと言われてますが、過保護時代になっているそうです。安全であることは大事ですが、安全の中に囲い込みすぎると、子どもは自ら危険を察知したり、回避したりする能力が育つチャンスを失ってしまいます。

いつか親の手から離れる時がきます。その時にはそのような能力を身につけておいて欲しいです。しかし今は過保護とスマホが子どもを取り巻き、大人が意識しなければ、回避能力を培うには難しい時代です。

だからこそ、子ども時代のあそびを見直し大切にし、見守りましょう！子どもの主体性が育ちます！

園長　犬童れい子

おしらせ

2日　English Time
４日　誕生会
6日　卒園ハイキング
14日　卒園式・職員会議
１８日　響け歌声inこひつじ間
24 日　災害避難訓練
27～28日　次年度移行準備期間

２月の子育てNOW

３歳以上ではぺぺぺぺらんより高野先生をお迎えし、絵本を通して、親子の関わりや子どもの育ちに欠かせない大切なメッセージをいただきました。
お話を聞かれた保護者の方々は、今後の子どものとの関わり方や育ちを考える上で、ものすごく参考になったと思います。
親として、大人として子どもの育ちに責任がある私たちの関わり・対応の仕方をしっかりと学び、子どもにとっての最善を考える機会として、またこのような企画を設けたいと思います。